

## メタデータ管理による地球科学データの共有に向けた DIAS の取り組み The effort in DIAS toward sharing earth science data by metadata management

清水 敏之<sup>1\*</sup>; 小野 雅史<sup>2</sup>; 北本 朝展<sup>3</sup>; 絹谷 弘子<sup>2</sup>; 黒岩 かおり<sup>4</sup>; 中原 陽子<sup>1</sup>; 三浦 聡子<sup>5</sup>;  
吉川 正俊<sup>1</sup>; 李 吉屹<sup>1</sup>

SHIMIZU, Toshiyuki<sup>1\*</sup>; ONO, Masafumi<sup>2</sup>; KITAMOTO, Asanobu<sup>3</sup>; KINUTANI, Hiroko<sup>2</sup>; KUROIWA, Kaori<sup>4</sup>;  
NAKAHARA, Yoko<sup>1</sup>; MIURA, Satoko H.<sup>5</sup>; YOSHIKAWA, Masatoshi<sup>1</sup>; LI, Jiyi<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 京都大学大学院情報学研究所, <sup>2</sup> 東京大学地球観測データ統融合連携研究機構, <sup>3</sup> 国立情報学研究所, <sup>4</sup> リモート・センシング技術センター, <sup>5</sup> 宇宙航空研究開発機構

<sup>1</sup> Graduate School of Informatics, Kyoto University, <sup>2</sup> EDITORIA, The University of Tokyo, <sup>3</sup> National Institute of Informatics, <sup>4</sup> Remote Sensing Technology Center of Japan, <sup>5</sup> Japan Aerospace Exploration Agency

地球環境情報統融合プログラム (DIAS-P) では、国内外の様々な観測データ、モデルデータなど地球環境に関するデータおよびメタデータを収集・管理しており、分野間でデータを相互利用するためのデータ基盤を構築している。多様なデータを適切に管理するためにはデータに対するメタデータの付与と管理が重要であり、我々はデータ統合・解析システム (DIAS) に格納されたデータに対して、データセットごとに ISO19115/19139 に基づくメタデータを付与している。さらに、関連するデータセンターからメタデータを収集しており、これらも含んで、多様な分野、形式、書式のメタデータを対象とした検索システムを構築している。

DIAS 内で円滑にメタデータを共有し、さらに、多様な書式のメタデータに対して適切な検索等を実現するために、我々はメタデータを一元的に管理し、メタデータを利用する検索システム等に渡すためのメタデータ仲介システムの開発と運用を目指している。メタデータの書式を揃えて統一的に扱うために、ブローカーカタログサービスのためのソフトウェアである GI-cat を利用しており、また、英日メタデータの対応情報など、メタデータに付随する情報 (メタメタデータ) の管理もメタデータ仲介システムが担うことを考えている。GI-cat の利用にあたっては、開発元である ESSI-Lab のグループと議論しながら、GI-cat 自体のアップデートの可能性を踏まえつつ、利用法を検討している。実際に他機関から提供された異なる書式のメタデータを変換した試みや、GI-cat を利用した DIAS 内でのメタデータ共有に関して紹介する。さらに、本発表では、DIAS における多様なメタデータの扱いと共に、DIAS におけるデータセットに対する DOI (Digital Object Identifier) 付与の試みについても紹介する。DIAS において作成されたメタデータと DOI 登録にあたって必要になるメタデータの対応を検討している。

キーワード: 地球環境情報統融合プログラム, データ統合解析システム, 地球観測データ, メタデータ  
Keywords: DIAS-P, DIAS, earth observation data, metadata